



Vol.1
イクジイが日本を元気にする。

毎月1回連載

育G新聞編集部 編集協力：
NPO法人 フザーリング・ジャパン
NPO法人 孫育て・ニッポン

育G インフォメーション

楽しい子育て・孫育て講座(全2回)

初孫を迎えるじいじにおすすめ。
イマドキの子育てを学ぶだけで無く、
おもちゃや絵本の選び方も学べます。

【日程】 4/8(金) 5/13(金)
6月以降 第一金曜日 毎月開催
【時間】 午後1時30分～3時
【場所】 社団法人日本助産師会
2階研修室
【参加費】 1,000円/回・一家族
【対象】 祖父母・パパ・ママ
【お問い合わせ・お申込み】 TEL 03-3866-3054
【定員】 25組(先着順、要予約)
【主催】 一般社団法人日本助産師会、
NPO法人 孫育て・ニッポン
詳細 → <http://www.midwife.or.jp>

育Gスクール6月開講決定！
孫との時間を楽しむコツ、育Gができる社会貢献など、日本の子どもたちを元気にする育Gを創出するスクールを開校します。詳細は決まり次第HPに掲載。

詳細 → <http://www.fathering.jp/ikujii/>

★育G発見★

No.1

世代間交流・下宿プロジェクト
たまり場の会 代表
中村 浩章さん



30年以上勤務していた出版社を
早期希望退職で退社、現在「世代間交流・
下宿プロジェクト たまり場の会」の代表
を務める中村浩章さん。
新しいチャレンジに、地域も注目している。

会社を辞めたら社会人大学で勉強をしたり、趣味を楽しむなどして
悠々自適な生活を送ろうと考えていたのですが、3日ほど好きなことを
したら、飽きました。目的がないと、人間はモチベーションが
上がらないんですね。

その後いろいろな勉強会に参加しました。勤めていたときには、知らなかつたことがたくさんありました。とくに興味を持ったのが、無縁社会と高齢者の孤独死。その数の多さに愕然としました。

私の住む千葉県柏市は、65歳以上

の高齢者世帯が3万世帯に達し、その半数が一人暮らし。また少子高齢化に伴い空き家も増加。景観、防犯上の問題にもなっています。そこで、空き家を利用した高齢者向けシェアハウスプロジェクトを立ち上げました。シェアハウスには世代間交流スペースを設け、「遠い祖父母よりも、近くの祖父母」となるよう、地域の子どもたちや子育て世代と、高齢者との絆づくりもていきたいと考えています。

現在はメンバーと物件を探したり、地域で勉強会を開催しながら準備をすすめています。古い形式にこだわらずに、新しい発想で世代を超えた絆作りをしていきたいですね。

世代間交流・下宿プロジェクト たまり場の会
Email : hn4546@jcom.home.ne.jp

育G(イクジイ)とは・・・・・・育Gの「G」は Grand Father の G ! 孫育て、あるいは地域の子どもたちの育成に力を注ぐことで、豊かな社会経験を社会貢献につなげていく、そんな新しいおじいちゃんたちが増えています。

育Gの極意



ジジの車は楽しい～
孫が好きな歌やグッズを車に



春の行楽シーズン。孫を自分の車に乗せて、家族で外出する機会も増えることでしょう。そこで、孫が喜ぶジジ車の演出を伝授。

まず、車の中は子どもにとっては退屈な場所であることを認識しましょう。チャイルドシートは乗りなれていないと、大泣きする場合も。でも、チャイルドシートは、お孫さんの命を事故から守ってくれるもの。泣くから抱っこではなく、車に乗る時には必ずチャイルドシートを着用することが大原則です。

育Gスタイル

車には、子ども向けの歌やグッズを用意。ぐずる前にジジの車は何だか楽しいという演出がポイント。チャイルドシートに取り付けられるおもちゃや、子どもが好きな歌、ぐずって困ったときのDVDなど、ジジの実力を発揮するチャンス。

孫連れのお出かけのポイントは、時間には余裕をもつこと。孫の機嫌が悪くなったら、無理せず車を停めてひと休み。無理は禁物です。

一口メモ

6歳未満のお子さんは、チャイルドシートの利用が法律で義務づけられています。短期利用の場合は、レンタルがおすすめ。チャイルドシートレンタルの助成を行っている市町村もあります。各市町村にお問い合わせください。

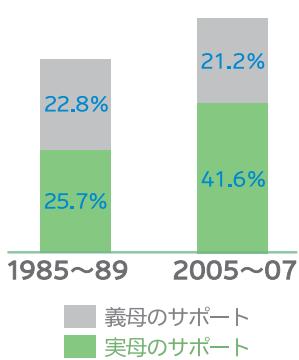
育Gスタイリスト G・ハヤシが
コーディネイト、
この春のおでかけスタイル。



育G潮流

娘の出産で変わる企業戦士たち

2011年11月に発表された第14回出生動向基本調査「結婚と出産に関する全国調査」によると、子どもが3歳になるまでに祖母のサポートを受けた割合は50%前後とここ10年あまり変化がない。しかし、その内訳——どちらの母にサポートしてもらうかが大きく変わった。義母のサポートは1985~89年の22.8%から2005~07年の21.2%と減少、実母のサポートは25.7%から41.6%と15.9%もアップした。



一昔前は、娘はほとんど家に帰ってこないものだったが、今は違う。最近は娘の実家の近くに住む近居も増えているという。娘は親の手と懐をあてにして、実家に帰ってくる。調査上では実母の数字しか見えてこないが、家に孫が来るとなれば、ジジだって大忙し。家の掃除に、料理の手伝い、娘と孫の送り迎え。企業戦士たちが、娘の出産で変革をとげることも多いようだ。